

国公立大学53名合格!

令和3年4月8日 **No. 74** 岐阜県立中津高等学校 進路情報



横浜国立大学、東京学芸大学、富山大学、金沢大学、山梨大学、 信州大学、岐阜大学、岐阜大学(医·医)、名古屋大学、静岡大学、 愛知県立大学、長崎大学 など

では

早稲田大学、明治大学、東京理科大学、関西大学、同志社大学 立命館大学、名城大学、愛知大学、南山大学、中京大学 など

国公立大学	53	創価
北海道教育	3	大正
宇都宮	1	東京電機
埼玉	1	東京通信大学
東京学芸	1	東京理科
横浜国立	1	東洋
富山	1	日本
金沢	1	日本社会事業
山梨	2	明治
信州	4	早稲田
静岡	3	神奈川
名古屋	1	金沢工業
岐阜	2	金沢学院
京都教育	1	福井工業
高知	3	健康科学
長崎	1	岐阜協立
高崎経済	2	岐阜女子
富山県立	2	岐阜聖徳学園
公立小松	1	岐阜保健大学
福井県立	1	東海学院
都留文科	1	中京学院
山梨県立	2	中部学院
長野県立	2	岐阜医療科学
長野	2	常葉
諏訪東京理科	4	名古屋学芸
静岡文化芸術	2	愛知
愛知県立	2	愛知学院
滋賀県立	3	愛知工科
島根県立	1	愛知工業
岡山県立	1	愛知淑徳
県立広島	1	愛知学泉
		金城学院
私立大学	261	椙山女学園
東京国際	1	大同
尚美学園	2	中京
芝浦工業	1	至学館

中部	42
名古屋外国語	14
名古屋学院	3
名古屋経済	5
名古屋芸術	1
名古屋商科	2
名古屋女子	1
藤田医科	4
南山	5
日本福祉	8
名城	14
東海学園	9
愛知文教	3
愛知工科	2
人間環境	1
皇學館	7
京都先端科学	1
立命館	2
龍谷	3
大阪経済	1
大阪芸術	1
関西	2
関西外国語	2
近畿	3
阪南	1
帝塚山	3
岡山理科	3
美作	1
海外の大学	
Nottingham	1
短大	10
岐阜市立女子短大	3
三重短大	1

中京学院大短大部

中部学院大短大部	1
平成医療短大	1
愛知学泉短大	2
愛知文教女子短大	1
専門学校 3	2)
多治見看護専門学校	5
下呂看護専門学校	4
公立春日井小牧看護専門学校	1
公立瀬戸旭看護専門学校	1
静岡医療科学専門大学校	2
佐久総合病院看護専門学校	1
トヨタ看護専門学校	1
東海医療科学専門学校	1
名古屋医専	1
日本工学院	1
東京スポーツレクリエーション	1
東京デザイナー学院	1
東京スクールオブミュージック	1
日本菓子専門学校	1
名古屋デザイナー学院	2
名古屋工学院専門学校	1
HAL名古屋	2
名古屋ウェディング&プライダル	4
名古屋未来工科専門学校	1
就職 5	5)
中津川市職員一般行政職	1
岐阜県警察	1
有限会社 ウイング	1
(株)Dolphin IT Service	1
Restaurant Motoi	1

『気を引き締めて』市川流雅(落合) 東京学芸大学 教育学部 中等教育教員養成課程 国語専攻 受験を通して私が学んだことは2つあります。1つ目は先を見据えた予定の立て方の重要性です。私たちの年の受験はコロナの影響もあり、大きく変わってしまい、苦労した人も多かったと思います。しかし、私にとっては、コロナウイルスの影響で延びた春休みの中で、改めて自分の進路を見直し、受験校を決める機会になりました。今回のような状況はもう二度と起きてほしくないし、なかなか起きづらいことです。だからこそ先に情報を集め、予定を立てるべきだと感じました。2つ目は最後まで気を抜かないことの大切さです。共通テストの直前までしっかりと勉強して臨んだのですが、新傾向の問題ということもあってか、英語のリーディングテストで、マークミスをしてしまいました。少しの気の緩みが人生を左右しかねないことにつながることだと感じました。今後の教訓として生かしたいです。

『受験を通して得られたもの』内山陸央(福岡) 横浜国立大学 経営学部 経営学科

僕が1番大切にしていたことは、言い訳をしないということです。わからないところは素直にわからないということ、間違いは認めること、質問や発言は当たり前にすること、たったこれだけのことで学習の質は大きく変わるはずです。そして、自分に自信を持つことも本当に大切です。何事も適度な自信を持って前向きに考える方が絶対にいいと思います。最後に、受験生としての生活を通して得られるものは志望校合格だけではありません。一緒に勉強できる仲間がいること、色々な面で支えてくれる家族がいること、親身になって向き合ってくれる先生方がいることなど、当たり前のようですがありがたいことばかりだということに気付きます。辛い部分は辛いかもしれませんが、自分なりの方法で乗り越えて、悔いのないようにしてほしいと思います。頑張ってください。

『最後まで何があるかわからない』片田陽菜 (付知) 山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学 科

私は総合型選抜入試に落ち、皆よりも共通テスト対策を本格的に始めるのも遅くなってしまっていました。大学の二次試験は面接だったのですが、総合型選抜入試の際の面接の経験が役に立ち、心に余裕を持ちながら面接練習に挑むことができました。総合型選抜入試では面接練習を毎日 1 時間半行い自信がある中で受験したのですが、本番で落ち着いて答えることができず落ちてしまいました。本番でいつもより良い結果も悪い結果も出した経験から、どれだけ勉強して練習していても本番で最大のパフォーマンスが出来るかが重要だととても感じました。成績が伸びずに私立を視野に入れたりしていましたが、幸運なことに最終的には初めから目指していた公立に行けることになりました。本当に何があるか分かりません。辛いときは焦らずに休憩しながら諦めずに頑張ってください。

『今何をするべきか』 熊崎利公 (加子母) 名古屋大学 経済学部

私が受験生及び高校3年生として1年過ごして感じたことは、今できる最大限の努力を継続させることの大切さです。受験をしていく中で、「頭では分かっているのに行動に移せない」と感じる時があると思います。こうなることは決して悪いことではありません。ただ大切なのはそんな状況のなかでもあきらめないことです。あきらめずに最後までやりぬけば合格すると思うし、そのときの自分は確実に人間的にも成長していると思います。今年は変則的な1年になりました。大学入試も大きく変わりました。先行き不透明な状態で今後の大学入試がどうなるのかはわからないと思います。受験生に求められていることは指定された枠の中で最大限の結果を出すことだと思います。今努力するしかありません。私もこれから様々なことに一生懸命になって取り組みます。皆さんも頑張ってください。応援しています!

『意識を変える』小林華音(瑞陵(現瑞浪北)) 滋賀県立大学 人間文化学部 国際コミュニケーション 学科

私は、英語と世界史の勉強に力を入れていました。とてもシンプルですが「単語を覚える」「教科書を読む」、この2つで点数が上がりました。これがすごく重要だと感じました。どんな教科でもそれに対する意識を変えることが重要だと受験の経験を通してすごく思いました。私は継続が苦手な人間なので、実際に受験対策をちゃんと始めたのは3年生の夏頃でした。塾にも通ってません。けど私は、スイッチが入ると集中力爆上がりタイプなので、それで最後まで頑張って合格できました。私のように早いうちから勉強できない人が正直結構いると思うので、そういう人たちは「スイッチが入った瞬間から死ぬ気で頑張る」しかないと思います。結局早いうちから勉強するのが一番だとは思います。けど人それぞれ頑張り方があるので、人と比べて悲観せず自分のやり方で頑張るのが合格への一歩かなと思いました。

『周囲の支え』髙橋凜(南木曽)静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科

私は志望校を決めるのが遅くて、夏休み明けくらいにやっと決めた時にその大学に推薦があることを知り挑戦してみようと思って出願しました。しかし、それまで準備していなかったので小論文を書くのが大変でした。実際に小論文の過去問を解き始めたのは試験当日まで一か月を切ってからでした。はじめは文章が難しいと感じてなかなか書けませんでしたが、担当の先生に指導していただくうちにだんだんと書けるようになっていきました。私は受験を通して周りの人にたくさん支えられていたのだということを改めて感じました。一人で不安になっていても家族や先生方がそばで応援してくれていて、一緒に頑張っている友達がいて、そういう人たちのおかげで、最後までやり遂げることができました。受験はつらくて大変かもしれないけど、応援してくれている人がいるということを忘れずに頑張ってください。

『努力した自分を信じて』中島萌(加子母)滋賀県立大学 人間文化学部 国際コミュニケーション学科 この1年は振り返るとあっという間で、とても辛かったけど、強くなれた、意味のある1年でした。新型コロナウイルスの影響でずっと夢だった留学が中止になり、1年後だと思っていた受験勉強が突然始まりました。夢が奪われて、虚無状態の私を友達や先生がラインや電話で励ましてくれて、自粛期間中は毎日12時間ほど勉強することができました。諦めないで、自分を信じて、伸びるまで継続して勉強することは一番大変ですが、一番必要なことだと思います。3年間勉強できる環境においてくれた家族、学習面、精神面で力強くサポートしてくださった先生方、毎日一緒に頑張ってくれた友達、様々なところで配慮してくれた後輩、優しく見守ってくれた近所の人、周りの人のおかげで合格できました。本当に感謝しています。過去の自分がやってきたことが今の自分の自信に繋がるよう、頑張ってください!

『海外進学という選択肢』林昌佐美(蛭川)Nottingham University foundation in business and management

私がマレーシアの大学に行こうと決めたのは3年生の夏頃です。もちろん不安もあります。授業についていけるかとか、コロナで渡航できるかどうかも怪しいのが現状です。でも自分で決めた道なのでどれだけ大変でも諦めずにたくさんのことを学んで色んなことに挑戦したいと思います。今まだ進路を決めてなくてどうするか悩んでいる人がいたらぜひ世界の大学も一度調べると面白いと思います。日本の大学だけじゃないってことに気づくと思います。少しでも海外に興味があるなら一度調べて見てください。調べればきっとあなたが思っている以上にあなたには選択肢がたくさんあることが分かると思います。

Never be afraid to try new things, because life gets boring when you stay within the limits of what

you already know. Be brave. The choice is yours.

『自分を見つめ 立ち向かう』水野奏(第二)愛知県立大学 日本文化学部 国語国文学科

「受験は団体戦」という言葉を本当に実感した一年間でした。友達と切磋琢磨して勉強したこと、先生 方に悩みに対するアドバイスをしていただいたこと、温かい家族の励ましが最後まで私の力になって合格へと繋げることができました。この受験で一番のライバルは自分でした。そしてその「自分」を見つめ直した時期でもありました。受験は団体戦ですが、進路は人それぞれ違います。自分を強く持ち、常に満足することなく上を目指す。最後まで諦めない。これが大事だと思います。また点数などの数字だけでなく、自分がどう考えるか、直面していることを捉えてどう立ち向かっていくのかが受験においては本当に重要でした。メンタル面でもひとまわり自分を成長させるのが大学受験です。皆さんも高校生活でよい仲間を作り、日々勉強に励み、夢を叶える進路を実現させていってください!

『日々の積み重ね』山内桃佳(落合)高知大学 人文社会科学部 人文科学科

受験をして日々の積み重ねがどれほど大切かを身に染みて感じました。これから受験に臨む人達には日々の授業やテストを受けることの意味を自分自身で理解し、手を抜かず取り組んで欲しいと思います。受験生になると先輩や先生からこれと似たような話がされます。正直私は当時話を聞いていても頭を通過して耳から抜ける状態になっていて先生や先輩たちの言葉をあまり真に受けていませんでした。受験を経験した人たちの言葉は受験生が受験の後必ず感じることだと思います。すべての話を全力で聞けとは言いませんが、受験生の実感が湧かない人は経験者の話を聞いて、受験に向けて気持ちを固めて欲しいです。それなりで勉強をしているとそれなりの結果しか出ません。結局は自分自身が今何をするかなので自分のために頑張って下さい。

『試験対策を通して学んだこと』渡邉杏望(恵那東)長野県立大学 グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科

試験内容は出願時に一緒に提出する志望理由書と面接でした。しかし入試前日の最後の指導の際、テスト期間であまり練習ができていなかったこともあり、満足のいく面接の受け答えができませんでした。そのことがあり不安を抱えたまま受験することになり、本番の面接でも手応えを感じられませんでした。そこで私が言いたいことはいくら完璧になっても練習は怠るべきでないということです。自信を持って本番の試験に挑むことは大切だと考えています。皆さんには私のような失敗をしてほしくないです。また、入試を通し今まで自分になかった考え方や知識を身につけることができ、視野が広がりました。合格の他にも得たものはたくさんありました。受験対策の向こう側には合格、不合格があるだけではなくそれ以外にも学んだり感じたりすることがあると私は思っています。

『受験の覚悟』伊藤由弥 (第二) 都留文科大学 文学部 国文学科

私の勉強に対する姿勢が変わったのは、コロナ渦で学校に行けなくなってしまったからです。コロナだけでなく、入試の制度が変化するなど例年に比べても受験に対しての不安感はとても大きく、受験に対して危機感が生まれました。それ以前勉強をする習慣は全くなく、定期テストは1教科1時間も勉強しないような私が友達と通話をつなげつつも休校期間1日7から10時間毎日勉強しました。受験勉強は気づき、覚悟を決めた人からスタートです。自分の将来を決めるのは自分なので誰かが言っていたからとかではなく行動に責任をもって後悔のないように受験に臨んでください。

『中津高校で勉強するということ』森本英里(苗木)中津川市役所

私は中津川市役所に就職が決まりました。市役所はいわゆる公務員なので、公務員試験の対策を中心に 勉強しました。勉強は、朝学校に着いてから(大体毎日)と、家に帰ってから取り組んでいました。ただ、 学校の定期テストが近い場合は学校の勉強を優先させていました。勉強方法というのは一人一人違うの で自分にあった勉強方法を見つけることを優先した方がいいと思います。最後に私が3年間を通して思 ったことです。もちろん、就職試験のために勉強をすることは大切です。しかし、だからと言って学校の 勉強をおろそかにしても良い訳では無いと思います。高校で進学校という選択をした以上は自分の選択 に責任を持つことが重要です。私自身、就職だから勉強をおろそかにしていると先生達に思われるのは嫌 でした。そのため、進学する人と同等の成績になるよう努力しました。

『受験から得たもの』小栗沙和子(釜戸(現瑞浪北)) 京都教育大学 教育学部 理科領域専攻

受験は私にとって、今まで受けたことのないとても大きな経験でした。私は小論文と面接を課す学校推薦型選抜試験で合格しました。私は当初、推薦受験は他の受験生と比べると共通テストを使用しないため、逃げなのではないかと思ったことがありました。しかし、実際この受験を経験して、私が推薦対策をしている間にも他の子は勉強していて差が生まれてきていると焦ったり、もし落ちたらこの時間は無駄なのではないかと不安に駆られたりとても苦しく感じました。そんな中でも気持ちをぶらさず、一所懸命目の前のことをこなしたことは精神面で私を大きく成長させてくれたと思います。受験はどのような形になろうと基本つらいですが、本気で取り組んだならば、何か成長を感じられる瞬間が来るはずです。家族や先生、共に戦う仲間の助けも借りながら後悔のない受験ができるよう頑張って下さい。

『受験生のすすめ』谷井宏伎(坂下)金沢大学 理工学域 数物科学類

してほしいことは、得意な教科を 2 つは作ること、学校の先生を利用すること、諦めずに最後まで取り組むことです。得意な教科は、共通テストでも二次試験でも、絶対に自分を助けてくれます。自粛期間中、化学に夢中になり、ひたすら化学の勉強をしていた時期がありました。そのとき夢中になったおかげで、自分の武器を増やすことができたし、最後の最後まで助けられました。また、先生方は有効活用するべきです。歩く参考書だと思ってたくさん使いましょう。中津高校の先生方は、どんな些細なことでも優しく丁寧に教えてくださいます。最後に、諦めないことは本当に大切です。試験直前に見ていた内容がそのまま出題されることもありました。なかなか点数が上がらなくても、諦めなければ何とかなります。人間最後は根性です。頑張ってください。

『妥協しない』吉川晴佳 (第二) 信州大学 工学部 物質化学科

私は将来何をしたいのか決まっていなかったため、とりあえず様々なことに挑戦してみたことがよかったと思っています。そこで高校1,2年生の間に高大連携講座を二つと宇宙工学講座の受講、弁論大会での発表、また、生徒会役員もさせていただきました。そして、こうした経験が自信につながりました。また、様々なことに挑戦し時には失敗する中で「妥協したら失敗する」ということを学びました。妥協しても成功する人はいると思いますが、私は大きなことをやり遂げるときに納得のいくまでやらなかったときにいつも失敗を経験してきました。この教訓が生かせたのかなと思っています。私のクラスには私よ

りも遥かに努力している人が多くいました。そんな人を見ていると、私の頑張りはまだまだ足りないと感 じ、危機感を持って頑張ることができたと思います。皆さんもよい仲間を見つけてください!

『基礎固め』小林寛明 (恵那西) 富山県立大学 工学部 電気電子工学科

わたしは3月から5月末まで続いた休校期間中で大きく力をつけることができ、休校期間直後の模試で目標としていた点を取ることができました。そこで自分が休校期間中に大事にしていた勉強法を紹介したいと思います。それは、当たり前の事を見落とさず、難しい問題は考えやすいように身近なことで考え直し、間違えた問題はどこで間違えたのか、なぜそうなるのかをノートや答えなどに書き込み、印象付けることです。多くの難しい問題は基礎的なことが積み重なっていることがほとんどなので、多くの基礎的な問題や考え方などを教科書や参考書等で確認するだけでも難易度が大きく下がります。また、問題の多くは同じような問題が多いのでたくさんやるだけでも点数に直接関係します。最近の世界情勢は先が見えませんが、その中で頑張れる理由を見つけ頑張っていきましょう。

『未来はどうにでもなる』楯悠真(神坂)公立諏訪東京理科大学 工学部 情報応用工学科

スマホの電源を切る、コンパスルーム等に行くなど自分が集中できる環境作りは、意外と大切だと感じました。人は環境に左右されやすい生き物なので、あえて孤立するのもひとつの手です。入試本番では、筆記試験は過去問では見たことのないような問題が出ました。面接でも、思っていたより深く多くのことを聞かれました。ですがある意味当然です。そうでないと全員が受かってしまいます。入試に向けて努力をすることはもちろん一番大切ですが、難しい問題が現れたとき、砕ける覚悟でぶつかって時間一杯あがくことも大切です。それが入試であれ何であれ、『出来ない』で諦めたら出来ないままです。最後になりますが、過去はどうしようもないし、未来はどうにでもなる、だから今日一日のマシな計画を立ててください、そしたら明日もマシな一日を過ごしてください。